

シナリオ①

潮汐発電所の整備について

宮古島市のある場所は、昔ならの海岸林が広がっている。
この場所に「潮汐発電」の実験施設を造り、海岸沿いを整備する計画が持ち上がった。

アクター	各配役のシナリオ（考え）
地域住民の人	潮汐発電整備に関与の深い立場から賛成を表明。 潮汐発電の送電も含めて、施設整備を要望している。何もない海岸を整備することができる。公共事業で人の動きもあり、地域の活性化につながるため早く着工してほしいと望んでいる。
市外観光客の人	潮汐発電整備に関与の浅い立場から反対を表明。 自然の砂浜と景観がなくなることに疑問を持つ人がいる。地域の活性化もわかるが、景観を保ちながら進めることはできないかと多くの観光客が意見を出している。
環境団体の人	潮汐発電整備に関与の浅い立場から反対を表明。 海や森の保全活動をする市内の環境団体からは、この場所は島にとって重要な自然海岸であり、生態系の中で重要な存在。自然を保全し、活かしながら地域活性化をするべきだと主張している。
行政の人	潮汐発電整備を責務とする立場から賛成を表明。 島の産業を活性化し、再生可能エネルギーの供給を拡大するためにも潮汐発電施設の整備は不可欠だと訴えている。インフラ整備は地域格差をなくすためにも欠かせないことであると考えている。

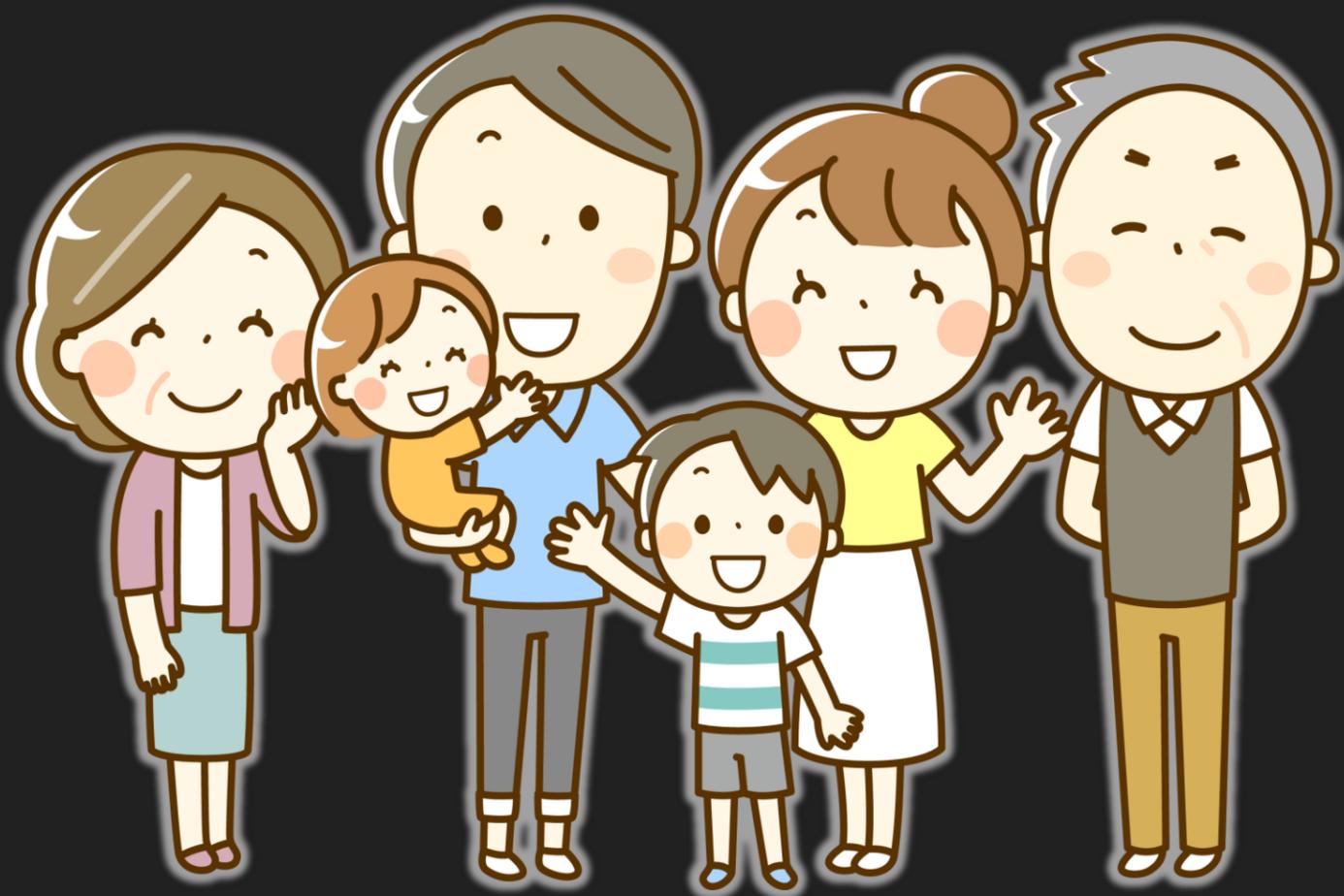
シナリオ②

ビーチ利用制限について

宮古島市のある場所は、昔ならの広い砂浜のビーチが広がっている。この場所で、オーバーツーリズムを回避するためにビーチ利用客の制限を設ける計画が持ち上がった。

アクター	各配役のシナリオ（考え）
地域住民の人	ビーチ利用制限に関与の深い立場から反対を表明。 生活の一部であるこの場所を利用できなくなることに強く反対している。観光目的の利用者も減ることから地域の経済が悪化するのではないかと心配している。
市外観光客の人	ビーチ利用制限に関与の浅い立場から反対を表明。 この場所を目的に観光に行っても利用できない可能性があることを心配している。誰でも利用できる現状を維持できないかと多くの声があがっている。
環境団体の人	ビーチ利用制限に関与の浅い立場から賛成を表明。 海や森の保全活動をする市内の環境団体からは、この場所は島にとって重要な自然海岸であり、生態系の中で重要な存在。自然を保全し、活かしながら地域活性化をするべきだと主張している。
行政の人	ビーチ利用制限を責務とする立場から賛成を表明。 島の観光資源である自然環境の保全は不可欠だと訴えている。持続可能な観光資源とすることで、付加価値を高めることで経済活動の活性化に欠かせないことであると考えている。

アクター1：地元住民の人



- 宮古島市内のある地域に住む住民
- 子育て世帯や昔からその地域に住む高齢者世帯など。
- 毎日の生活がこの場所にある。

アクター2：市外観光客の人



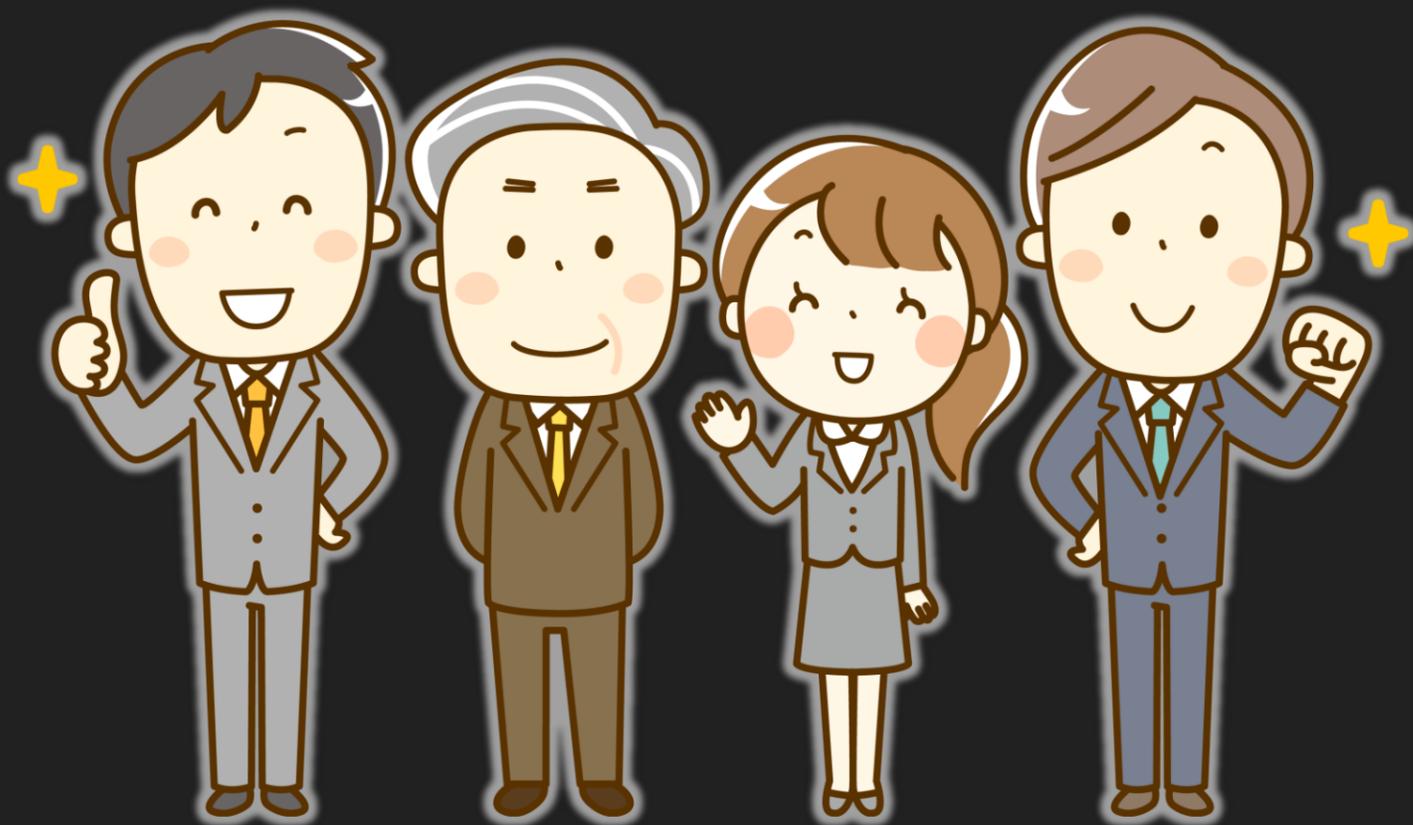
- 宮古島市のある地域が好きで島外からよく訪れる観光客
- 第2の故郷のようにこの場所を大切に考えている。
- 非日常がこの場所になりにあり、憩いの場所。

アクター3：環境団体の人



- 宮古島市内で、環境保全活動を勢力的に行っている環境団体
- 島の自然を愛し、動植物との共生を推進している。
- この場所は、宮古島市内において重要な自然環境の一つ。

アクター4：行政の人



- 宮古島市の行政職員
- 住みやすいまちづくりを目指し、市民のために働いている。
- この場所は、行政として力を注ぎたい支援対象の場所。